

2022年度パス大会を開催して

一般財団法人 永頼会 松山市民病院

【松山市民病院の概要】

■ 稼働病床数	330 床	
■ 診療科	26 診療科	
■ 入院基本料	急性期一般入院科 4	(10 : 1)
■ 平均在院日数	16.6 日	
■ 平均外来患者数	546名/日	
■ 平均入院患者数	258名/日	
■ 登録パス件数	110種類	※2023年度 実績

【松山市民病院のパス委員会の現状】

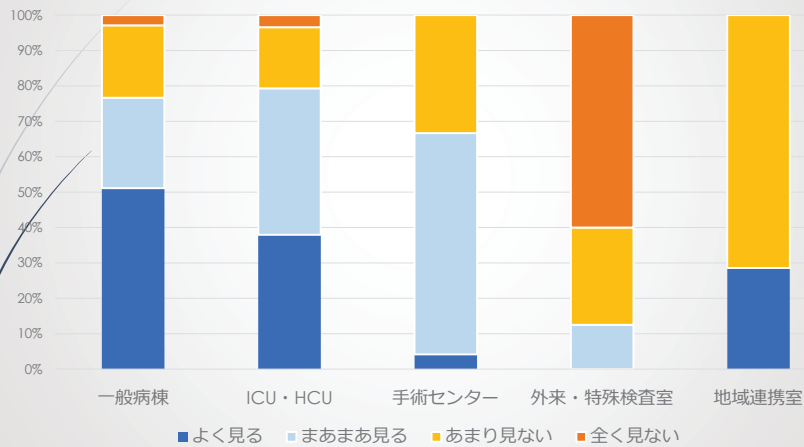
- 2009年 クリニカルパス委員会を設立
- 2010年 クリニカルパス使用開始(12科81種類)
- 2021年 クリニカルパス(12科96種類)を運用中
- 2023年 クリニカルパス(12科110種類)を運用中

2022年度のパス適応率 → **34.6%**
目標の適応率30%以上を達成

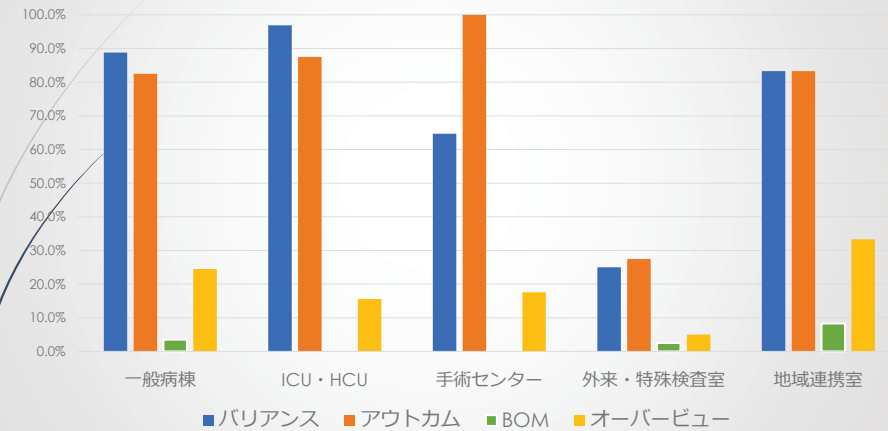
【パスリンクナースのおもな活動】

- アウトカム評価率の集計 1回/月
- バリエーション集計 1回/月
- パスの作成・見直し
- パス大会 (パス委員会と共同)

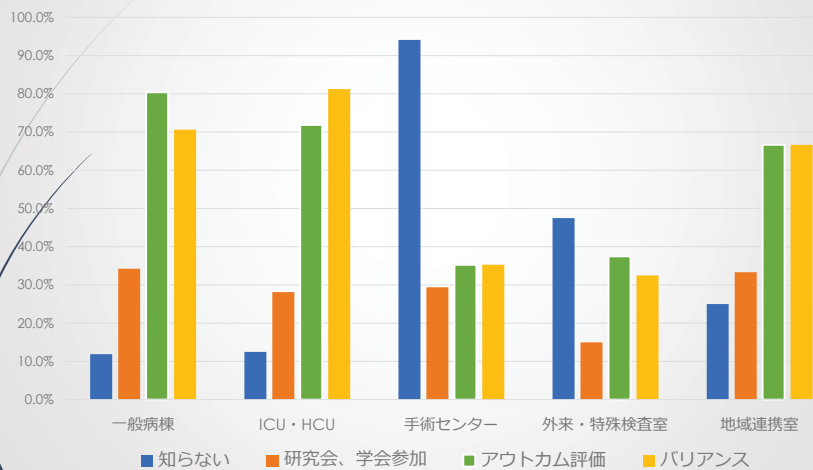
【パス大会前】業務の中でパスをみるか



【パス大会前】パスの用語の認知度 (複数回答)



【パス大会前】リンクナースの活動の認知度 (複数回答)



【パス大会前のアンケート結果】

パスのことで知りたい事

- ▶ パスに触れる機会がないため基本的な事から知りたい
- ▶ 最近までどこから見るか知らなかったため周知してほしい
- ▶ 用語、パスとは何か
- ▶ 評価基準に個人差があるためその基準を知りたい
- ▶ バリアンスが発生とは、具体的にどのような事であればそうなるのか

【パス大会の内容】

クリニカルパスについて パスリンクナースの役割

第1回 パス大会
クリニカルパスリンクナース

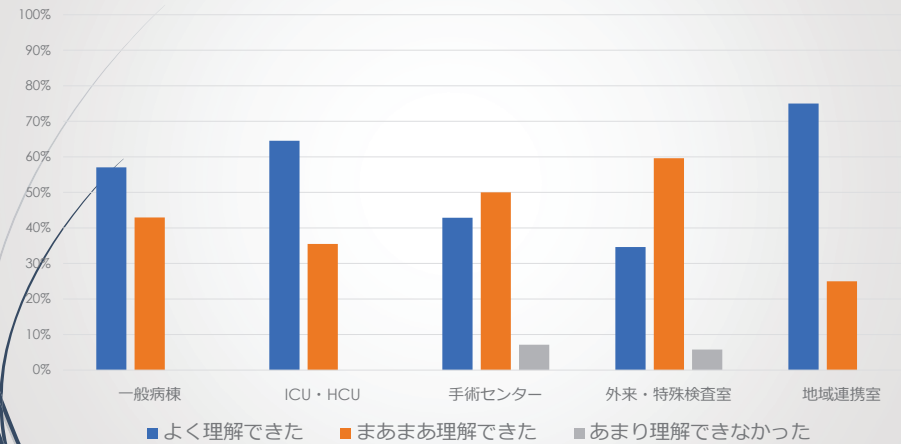
- ・クリニカルパスとは
- ・パスの用語
- ・リンクナース会の活動
など

クリニカルパスリンクナースより

パスのことで困ったことや気になることがあれば、
いつでも各部署のパスリンクナースに声を
かけてください。



【パス大会後】内容は理解できたか



【パス大会後のアンケート結果】

クリニカルパスについて意見・要望

- パスの基本的な所が知りたい
- 多施設の状況を知りたい
- 医師の指示と合っていない時がある
- クリニカルパス運用に対して、看護計画の立案は元々不要であるため取り入れができるようにしてほしい
- 疼痛コントロールの評価に困る
- パス入力項目以外に観察に必要な項目を追加すると逸脱になるのか
(追加しないほうがいいのか)

【考察】

- パス使用が少ない外来・特殊検査室、手術センターは特に病棟と比較してリンクナースのパス活動の認知度が低い
- パス大会後は具体的要望・意見が多くなり、リンクナースの活動についての理解は得られた
しかし、パス大会後も「パスの基本的なことを知りたい」との回答があり、パス大会の内容の見直しが今後の課題である
- 2022年度は感染対策のため集合研修が行えず、音声付のPPTのみの視聴であったが、質疑応答ができるように、今後は対面式での研究会を検討する必要がある
- パスの観察項目を修正(削除・追加)していく必要がある

【結論】

- ▶ パス用語やパス活動についての認知度が低かったため院内パス大会の内容を見直し来年度以降も継続して啓発活動の推進に取り組んでいく
- ▶ 今後も患者サービスの向上や標準的な医療提供の推進に向けて、アウトカムや看護計画の見直しを実施する

ご清聴ありがとうございました